

## 平成 28 年(一社)日本地下鉄協会・会長「年頭のご挨拶」

一般社団法人日本地下鉄協会

会長 高島宗一郎  
(福岡市長)



明けましておめでとうございます。皆様には、お健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

日本の地下鉄は、地下走行による高速性と定時運行で、都市の交通渋滞を緩和しているほか、運行管理システムの構築により、高い安全性を確保しております。また、CO2 排出量が少なく環境にやさしい公共交通機関であり、さらには、清潔で、高齢者や外国人など誰にでも利用しやすいユニバーサルデザインにも配慮しています。

昭和 2 年に東京で開業以来、約 90 年の歴史の中で、都市の発展とともに開業・延伸を重ね、昨年 12 月には、「公共交通を中心とした機能集約型都市の形成を先導しながら、新たな都市の魅力と活力を創造する」という理念の下、全国で 7 番目のリニアメトロとなる仙台市地下鉄の東西線が新たに開業しました。地下鉄は、今や、大都市の交通ネットワークの軸として、北海道から九州まで、全国 12 都市で 46 路線、総延長 814 km、利用者は 1 日当たり 1,540 万人に達しており、まちとまちを繋ぎ、人と人を結ぶ交通機関として、市民生活、都市活動において重要な役割を果たす存在となっております。

一方、今後、地下鉄施設の耐震・浸水対策、環境対策やバリアフリーへの取り組みや、ソフト面における乗車マナー向上の啓発などをより一層進めるとともに、2020 年開催の東京オリンピック・パラリンピックをはじめとしたインバウンド対応などの課題に対処していく必要があります。

人にも環境にもやさしく、安全・安心、快適・便利な交通機関として、より多くの皆様に地下鉄をご利用いただけるよう、協会が一丸となって新たなチャレンジをしてみたいと思っておりますので、鉄道関係者の皆様におかれましては、さらなるご支援、ご協力をお願い申し上げます。

結びに、新しい年が皆様にとりまして希望に満ちた、大いなる発展の年となりますことを心より祈念いたしまして私のご挨拶といたします。